

標 題 : Effect of nutritional intervention promoting the Mediterranean food pattern on electrophoretic characteristics of low-density lipoprotein particles in healthy women from the Quebec City metropolitan area
ケベック大都市圏の健康な女性における LDL 粒子の電気泳動特性に対する地中海食事パターンを勧める栄養介入の影響

著 者 : J. Goulet, et al. (カナダ ラバル大学 機能性食品研究所)

掲 載 誌 : Br. J. Nutr. 92: 285-293 (2004)

要 旨 : 本研究の目的は、30 から 65 歳の健康な女性 71 名のグループで、自由生活の条件で地中海食事パターンを勧める栄養介入の LDL 電気泳動特性に対する影響を評価することである。

12 週間の栄養介入には栄養に関する講座 2 回と栄養士による個別集会 7 回が含まれる。最初の講座で地中海食事パターンに関する情報を提供し 2 回目は料理講習であった。

LDL のピーク粒子直径および小粒子(LDLコレステロール < 255)と大粒子(LDLコレステロール > 260)の区分を、血漿全体の 2 - 16% ポリアクリルアミド電気泳動で得た。開始時の LDL のピーク粒子直径に基づいて、サンプルを 3 区分した(258.4 と 260.0)。

全女性のサンプルの間で、栄養介入に反応した LDL のピーク粒子直径の有意な変化は認められなかった。

しかし、開始時に LDL のピーク粒子直径が小さい被験者(< 258.4)は 12 週間の栄養介入に反応して LDL のピーク粒子直径および > 260 の LDL% が有意に上昇した(P<0.05)。

これに対して、開始時に LDL のピーク粒子直径が大きい(> 260)女性女性では LDL のピーク粒子直径が有意に低下したが(P=0.007)、 < 255 の LDL% も > 260 の LDL% も変化しなかった。

結論として、開始時に小さな LDL 粒子が特徴の女性で、地中海食事パターンを勧める栄養介入に反応した食事パターンの変化は、LDL の電気泳動特性の良い変化を伴った。
